

## 第1回そでぷらすミーティング

平成30年5月25日

20時28分～

出席者：五島、古賀、堀尾

- 新食研を広めるということは変えず…。企画として、どこに連絡する？ 食支援サポーターはそのままで、地域社会資源を知っている人にするにことにした。⇒地域の方を50人以上知っていればサポーターとなるという流れになった。
- 第1弾のチラシ→マイスターの名前、連絡先の一覧表をつくる…2ステップ作戦とする。
- 最初は、新食研って何？そんなグループがあるんだ！というチラシを作る。⇒それが広まることでOK
- 第2弾は、マイスターの名簿を作る。
- その次の段階として、活動を新宿区内に広めるために、どんなツールがあれば良いかを考える。
- 山上デザインの楽しいやつをつくる。あえて言うと、新食研は専門職ではない。
- チラシは3つ折り。これとともにA4版のを両方作ることにする。500部ずつ。
- チラシは活動紹介のものを楽しく。⇒3か月ごとにデザインを変える。
- 住民がチラシを手にとる→チラシを見て興味をもった人が次に行くはどこ？…私も参加できるのかしら？…うちの家族は困っているから問い合わせができるのかしら…電話？…そのリスクは？…チラシの中の電話番号は、ふれあい歯科でOK
- マイスター制度が出来ていったとき、WINWINの関係でないといけないということだが…お口のことは歯科医とか、訪問看護、訪問介護だったりするが…そこが繋がっていくといいのかなあ。
- たとえば、興味がある人から電話がかかってくる、電話をとる人が、患者さんの電話をさばくこともあったりすると、1か所に電話が集中してしまうとどういうことになるか。…何か所かに分散されるとさばけるのではないかな。…でも、まずは電話が来るとするのが大事であり、電話が来ないことの方がこまってしまう。
- 新宿以外で、そこそこ新食研は有名になってきているので、それをどんどん広めていくことができればよい。
- そでぷすの開催が減ってきたが…そでぷすとフォーラムとを同時に進めてきたが、山上くんのような実働で働くことができる人が入ってくることが良い。ある程度、少数精鋭で対応できる、五島先生が考えていることをそのままスムーズに遂行できるチームを作った方が良いのではないかな。
- チラシのことで言えば、それを1つのWGにしてしまうのはどうか。
- 最初に作ったチラシは堅かった。
- 目標設定をしたものを…新宿区民にはこんな人がいますよ、本当に困った人が必要としているチラシを作る。「何かお困りのことがあればコチラ」…専門職のことを紹介するチラシ、他などいろいろなタイプがあれば良いのではないかな。
- やっているんですよアピール、「こんなのあるんだ！」というツールで良い。
- 新食研紹介チラシ…A4版裏表というツールを作ることから始める。
- そでぷすデザイン部門…というところに山上くんがいて、「山崎さん来てよ」という呼びかけをすることができれば良い。佐藤雅明さんとかを入れたら…
- いろんなチラシを作ってみて、いろんな人に評価をしてもらうのはいいのでは。専門職ではない、事務職とか違う立場の方たちに評価をしてもらうとか…また、新食研のメンバーにも評価してもらうことをするのも必要ではないかな。
- まずは、五島、古賀、山上、堀尾の4人で集まり、話し合おう。
- フォーラムには、最高のバージョンのチラシを配布できるようにする。

次回予定

開催日：平成 30 年 6 月 日 ( ) ⇒ラインで日程調整

時間：